

北陸地方整備局
能登港湾空港復興推進室

記者発表

発表日時

令和8年3月31日

能登地域の港湾で係留施設(国復旧)の約6割が復旧完了

北陸地方整備局では、能登半島地震の被災を受け、被災地の復旧及び生業の再建を最優先に、利用しながら港湾の本格復旧を進めております。

今般、能登地域の港湾で国が復旧する係留施設(岸壁や物揚場)の約6割(延長3,215mのうち1,790m)の本格復旧が完了し利用可能となります。

残る係留施設の本格復旧は、令和8年度中の完了を目指して、引き続き関係者一丸となり進め、被災地の一日も早い復旧・復興に全力で取り組んでまいります。

1. 復旧完了施設(位置図や復旧状況は別紙1参照)

七尾港大田2号岸壁(水深10m)(延長185m) ※令和7年9月一部区間完了
七尾港大田物専岸壁(水深10m)(延長185m)
七尾港大田3号岸壁(水深13m)(延長290m) ※令和7年12月一部区間完了
七尾港矢田新さん橋(水深7.5m)(延長220m)
小木港岸壁(水深5.0m)(延長160m)
小木港岸壁(水深4.5m)(延長230m) ※令和7年9、10、12月一部区間完了
宇出津港14号物揚場(水深4.0m)(延長240m)
穴水港大町B物揚場(水深4.0m)(延長190m)
飯田港岸壁(水深4.5m)(全延長300mのうち90m)

2. 今後の主な利用予定

- ・七尾港 クルーズ船(5月4日寄港)や大型原木船(5月頃)等が利用
- ・他の港湾 漁船や建設資材等の運搬船が利用

発表記者クラブ

石川県政記者クラブ
専門紙

(問い合わせ先)

国土交通省 北陸地方整備局
能登港湾空港復興推進室
前任建設管理官 石野(いしの)
前任建設管理官 石井(いしい)
TEL: 0767-53-0900

- 令和6年能登半島地震で被災した能登地域の7港湾において本格復旧工事を実施中。
- 令和7年9月以降、小木港や七尾港では、復旧が完了した区間から部分的に利用開始。
- 令和7年度末で係留施設(岸壁、物揚場)の約6割が復旧完了。残る係留施設は令和8年度末までの完了を目指す。

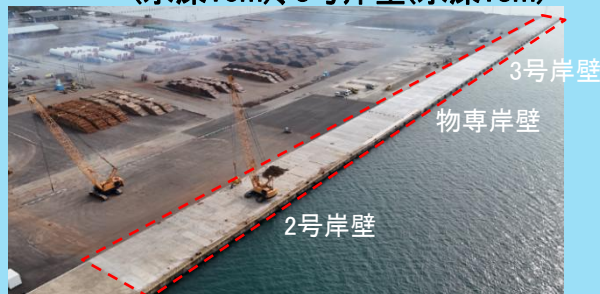
穴水港

- ・大町B物揚場(水深4.0m)



七尾港

- ・大田地区;2号岸壁(水深10m)、物専岸壁(水深10m)、3号岸壁(水深13m)



- ・矢田新地区;さん橋(水深7.5m)



---: 復旧範囲

飯田港

- ・岸壁(水深4.5m)



小木港

- ・岸壁(水深5.0m)、岸壁(水深4.5m)



宇出津港

- ・14号物揚場(水深4.0m)



Before



After



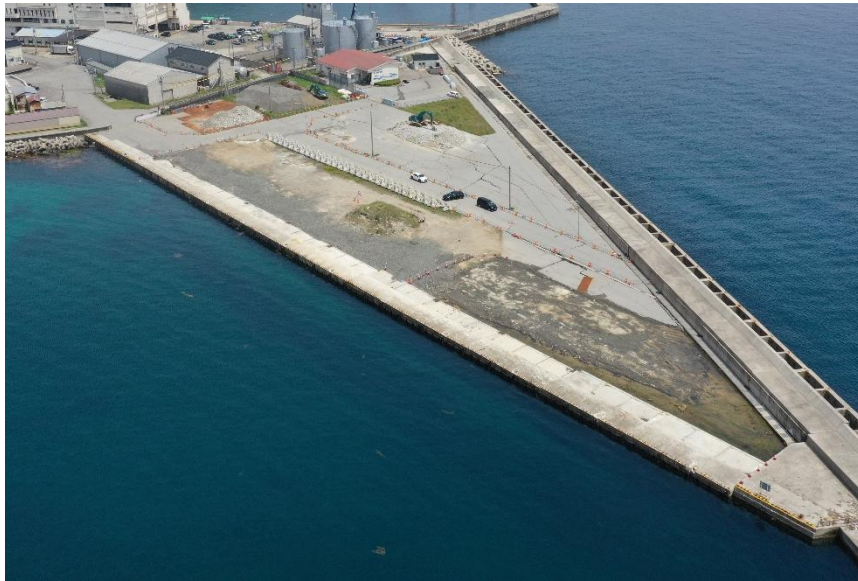
Before



After



Before



After



Before



After



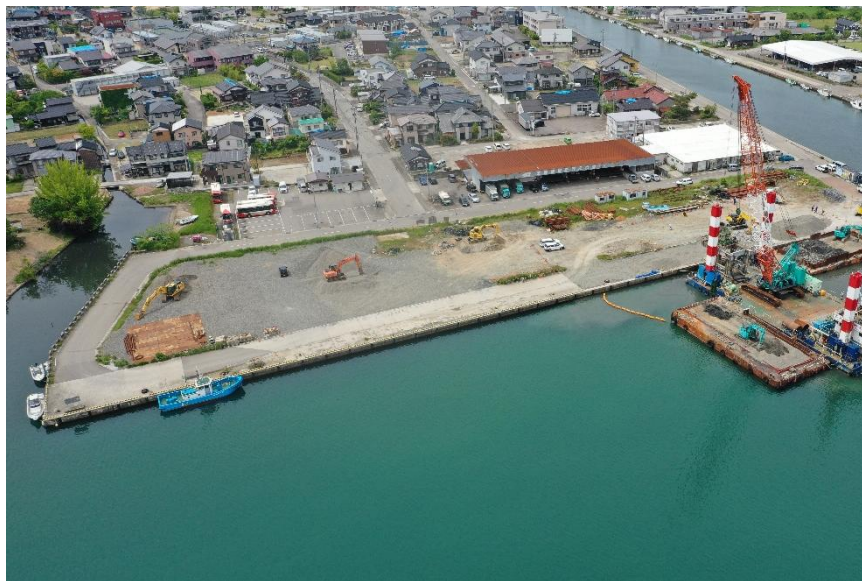
Before



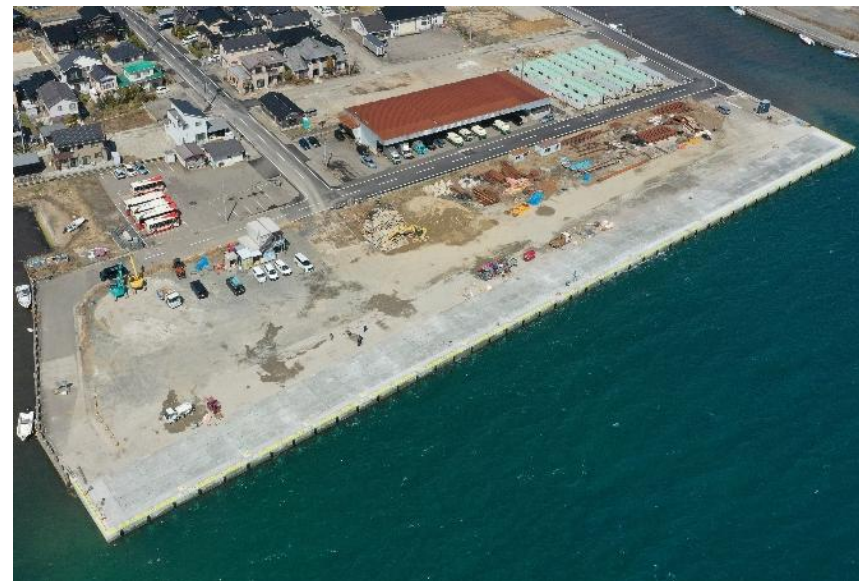
After



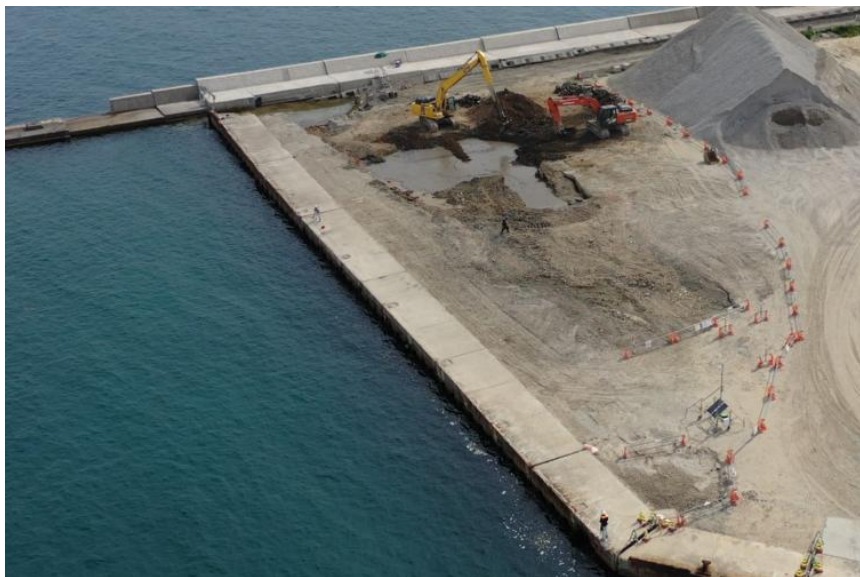
Before



After



Before



After

